

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1133	地域スポーツ活動推進事業	会計	01	一般会計	
基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款	10	教育費
			項	06	保健体育費
			目	01	保健体育総務費
担当部課名	教育委員会 伊賀分室		細目	103	生涯スポーツ推進事業
作成者氏名	藤岡雅之	連絡先	細々目	01	地域スポーツ活動推進事業
		45-9116			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	地域市民。スポーツを楽しもうとする、取り組もうとする市民	スポーツ教室を開設することにより、機会の提供と地域市民が継続して運動に取り組む習慣を促すと共に、親睦、交流が図られる。				
各年齢層を対象としたスポーツ教室を開催(テニス15回、ソフトバレーボール10回、3B体操20回)						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	784	719	719
委託料			
報償	568	358	358
その他	216	361	361
合計(A+B)	2,224	2,159	2,159
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,224	2,159	2,159
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
教室参加者数(3教室延人数)	人	1095	1000	1000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
教室参加者数	交流と健康の増進になる(現状維持)	人	1095 目標 (1000)	1000	1000

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市民が気軽に参加でき、楽しく体力づくり、健康づくりが出来るスポーツ教室を開設するもので、ニーズに合った教室設定が必要
--

評価	必要性	4	市民ニーズを確認し、継続し開設する種目と、次年度検討すべき種目を判断しつつ進めていく。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		